

令和3年度第1回一宮町総合教育会議における意見交換概要

1. 日 時 令和4年3月23日（水）午前10時00分から11時25分
2. 場 所 保健センター 3階会議室
3. 出席者 馬淵町長、藍野教育長（委員）、
渡邊教育長職務代理人（委員）、
小高教育委員（委員）、川城教育委員（委員）、
立花教育委員（委員）

4. 報 告

(1) 教育現場における新型コロナウイルス感染症対策について

事務局 皆様おはようございます。

定刻前ですが、一宮町総合教育会議設置要綱第8条により本会議の内容につきまして会議録を作成しホームページで公表いたしますので予めご了承下さい。

それでは、ただいまより令和3年度第1回一宮町総合教育会議を開催いたします。

本日、司会進行を勤めさせていただきます、企画課長の渡邊です。よろしくお願ひ致します。

今年度第1回目の会議ということと、委員さん初めての方もいらっしゃいますので自己紹介をお願いいたします。

・ ・ 委員自己紹介 ・ ・

続きまして、次第の2 馬淵町長より挨拶をお願いいたします。

・ ・ 馬淵町長あいさつ ・ ・

事務局 ありがとうございました。

続きまして、次第の3、の報告に入ります。

それでは一宮町総合教育会議設置要綱第4条3項により、町長が議長となりますので、進行をお願いします。

町 長 それでは、次第の3（1）教育現場における新型コロナウイルス感染症対策について事務局説明をお願いします。

事務局 まず、私から3月20日現在の「一宮町内のコロナ感染症患者の発生状況」を報告させていただきます。

一宮町全体で406名、男女別での感染者数は男性208名、女性19名になります。年齢別で言いますと、児童・生徒が含まれている、「10代」、「10代未満」の感染者数は全体の37%、その関係している家族（ちょうどお父さん、母さんにあたる世代）の「30代」、「40代」の感染者数が全体の36%であることから家庭内感染が多いのかなと思います。次の年齢別及び男女別の詳細についても「表」及び円グラフで表示されておりますので確認を頂ければと思います。次に「発表件数」につきましては、2月17日の18件を境に減少傾向にありますが、まだまだ、終息は望めないのかなと思います。

次に(2)の学校別感染状況について、報告をさせていただきます。こちらにつきましても3月20日現在でございます。東浪見小学校は、児童教職員あわせて6名、一宮小学校は、58名、一宮中学校は、24名でした。

次に(3)の臨時休業等の状況についてですが、東浪見小学校は、学年閉鎖が3回、一宮小学校は、臨時休業2回、学年閉鎖2回、学級閉鎖5回でした。一宮中学校は、学年閉鎖2回、学級閉鎖4回でした。

それでは、教育現場における感染症対策につきまして、ご説明させていただきます。

お手元の資料、抗原検査運用マニュアルによる検査の実施についてをご覧ください。

町では、昨年10月に「小中学校、保育所等、学童保育の新型コロナウイルス感染症に係る抗原検査運用マニュアル」を作成いたしました。

このマニュアル策定の目的は、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が適用されている期間において、学校や保育施設および学童保育でコロナの陽性者が確認され、濃厚接触者に特定された場合は、保健所の指示に従い自宅待機となるわけですが、濃厚接触者以外の同じクラスの児童生徒等に対して町が用意した抗原検査キットにより検査を実施し、感染拡大への影響を最小限に抑えるものです。

続いて(2)この検査の実施状況ですが、実施期間は令和4年1月21

日から3月21日（まん防期間中）です。

次に実施状況ですが、東浪見小学校3回、一宮小学校7回、一宮中学校5回実施いたしました。この抗原検査キットによる検査実施による成果と課題ですが、

まず成果としましては、・学校での感染拡大を最小限に抑えることができた。学年及び学級閉鎖の期間を短縮でき、検査結果によってすぐに授業再開ができた。結果が出ることにより見えない不安を解消できた。当該学級の児童生徒や保護者の不安の軽減が図れた。臨時休業により保護者が仕事を休む負担を軽減できた。という点が挙げられます。

次に課題ですが検査キットの在庫切れにより実施が一時中止となってしまったこと。大会や試験、修学旅行及び卒業式などの特別な行事の際の対応や判断（町との協議）をどうするか。などがございました。

続きまして、コロナ禍においての3 I C Tを活用した学習についてをご説明いたします。

(1)GIGA スクール構想は、小中学生が I C T（情報通信技術）を使いこなせるよう教育環境を整えることを目的に、全ての児童生徒へのパソコンやタブレットなどの学習用端末や高速ネットワーク環境（校内 L A N）の整備といったハード施策と、優良な I C T 活用例の普及といったソフト施策の両面から習熟度にあった学習環境を整え、子ども達の情報活用能力を育む狙いで文部科学省が2019年12月に発表した計画です。

当初端末は2019年度から2023年度末までの5ヵ年計画としていたが、新型コロナウイルス感染症の流行を受け、2020年度末へ前倒し、また家庭でのオンライン学習環境の整備など追加策がとられました。

それでは、(2)町内小中学校の整備状況について、令和2年8月に校内通信ネットワークの整備をしました。これは、1クラス全員が動画をみても回線速度が変わらないものです。同じく、令和2年8月にアクセスポイントの整備をしました。1台につき最大理論値127台同時接続ができ、全学級で同時にオンライン授業が可能となっております。

また、令和3年1月には、タブレット端末OSの整備をしました。端末の起動が約5秒程度ととても速く、授業ですぐに使用できるものを導入しました。さらに、令和4年1月には、端末持ち帰り用バッグ・充電ア

ダブターの整備をしました。これにより臨時休業時の家庭学習やオンライン授業のため端末等を安全に家庭に持ち帰ることができます。

続いて(3)こちらの活用状況ですが、東浪見小学校平均1日1回、一宮小学校平均1日2回、一宮中学校平均1日2回程度です。

(4)活用事例ですが、通常の授業での活用に加え、【小学校】では、情報モラル教育としてSNSの活用方法、ID・パスワードの大切さについて指導しました。

また【中学校】では、プレイグラムタイピングを活用しタイピング練習を行っております。さらに【小中共通】としまして、クラウドドリルを導入しており、授業で活用の他、自宅PCにおいても利用が可能となっております。小学校はJUSTドリルを令和2年9月導入し、中学校はミライシードを令和3年2月導入しました。特徴は、

- ①学習履歴を把握…クラス・個人単位で確認ができるため、躓きやすいポイントなどが一目でわかる。
- ②リアルタイムで確認…全員の画面が見られるため、手が止まってしまっている児童・生徒にすぐに指導ができる。
- ③コメントの配信…一人一人にコメントを配信できるため、ほめることで自信につなげる。
- ④間違えた問題の再出…間違えた問題のみをピックアップできるため、躓きを残さず効果的な学習につながる。

というものです。

次に、児童生徒や教職員に対し、ICT支援員を配置いたしました。

(5) ICT支援員の配置について

支援員の役割は、

- ①児童生徒に直接授業をする授業支援
- ②教職員への教材・手順書等（オンライン授業に向けての操作説明書）の資料の作成
- ③教職員への質問等の応対 などでございます。

また、どのくらいの頻度で派遣したかですが、東浪見小学校 半日を月2回、一宮小学校半日を月4回、一宮中学校半日を月2回派遣いたしました。

また、(6)デジタル教科書についても教科書改訂にあわせながら、徐々

に整備し、利用していただいております。

最後に、(7)オンラインによる授業でございます。臨時休業中や感染が不安で登校できない児童生徒に対し、Zoom(ズーム) や google meet (グーグルミート) を活用し、オンライン授業を実施いたしました。以前は教職員が課題を作成し、紙媒体で課題を提供していましたが、それに加え、登校している児童生徒と同じように授業を受けられるものです。

先生方も、慣れない環境の中で、学年等で協力し合いながら、対応をしていると伺っております。今後もこのような授業展開をしなければならぬ時期がまたやってくると思っておりますので、教育委員会といたしましても、できる限りのサポートをしてまいりたいと思っております。続きまして、社会教育施設の利用制限についてですが、まん延防止等重点措置が解除されたことに伴い、社会教育施設の利用制限について改めました。3月22日から各種スポーツ大会の利用を可能としました。また一宮号のバスの定員を12名から補助席を除いた座席22名に緩和し運行いたします。ただし、座席の間に飛沫防止パネルは設置いたします。

町長 オンラインの実績を積み上げできていただいていると拝見している。特に一宮小学校では多くのオンライン授業が行われている。何かオンライン授業を通じ課題等ございますか。

委員 中学校の場合、コロナ前から、それぞれの教科でオンライン授業をおこなってきた。オンライン学習と対面学習が違うのは、「先生の声が早くて聞き取れない。」などといった子どもたちからの声があり、そういう声が先生方に届き先生方はしゃべる速度を緩やかに、聴く側の変換しやすい言葉に注意するようになったということで対面授業の際にもよりわかりやすくなりプラスの材料になってきた。

また、東浪見小学校は人数は少ないですが、行事などで体育館に集まると密になってしまう。先日の卒業式では、体育館には卒業生と5年生が、1年生から4年生は教室でタブレットを使った。全校生徒がオンラインにより卒業式に参加することができた。

町 長 コロナがきっかけでICT化が進みこの部分では進むことができた。一宮中学校の授業参観に伺った際、先生方がコンピュータを巧に扱い対面授業をうまく行なっていた。これは必須になっていくと思いますし、教育の質の向上につながっていくことに直結していくところと感じた。

委 員 オンライン授業と対面授業とでの進み方、学力の習得の状況は変わらないのでしょうか。

委 員 データはないですが、「オンライン授業の方が集中できる」「教室だとざわついて集中できない」「一人では淋しい」といったさまざまな声があります。どちらが良いのかはないですが対面授業、オンライン授業の両方がうまくやっていければよい。アンチオンライン派は対面でなければならない。という人もいる。現に「ゲームの時間が減った」という声や「オンラインだと一人なので集中でき、質問も整理することができた」また、オンライン授業の際には、しっかり制服に着替えて机に向かって学習する生徒もいたとの声を聞いています。

委 員 私が中学生の頃は、対面授業であれば、先生の体験談や余談話もあり先生の話にのめり込んでいった印象が残る。オンライン授業と対面授業と両方行なうから良いのかもしれないが、オンラインだと余計な話はしないのでそれもよし悪しなのかもしれないけどその変はどうなんでしょうか。

委 員 対面授業ではジョークがあったが、オンライン授業では余計な繋がりがなく、生徒の中には、「こんなに真面目で一生懸命教えてくれる先生だったんだ」と「見直した」といった声や、「繋ぎや余談がないから淋しい」といった声もある。高校へ行くとオンライン授業の形態が学校によって全く違うのでプラスになって返ってくるとよい。

委 員 あくまでもICT教育は、教育のひとつとしての方法として学校現場は認識しなければならない。これを目的としてはならない。いくらよい機器を使っても子どもたちに有効な力がついていかなくてはならないという大前提でおさえなければならぬ。

委員 施設の利用制限に関し、3月22日から使えるようになるということですが、東浪見小学校のグラウンドの利用に関し、サッカーチームから使えなく困っているという声があった。一度緩和された状態でもまた、使用できなくなった。昨年1年間使えておらず子どもが活動する場所がなく睦沢町のグラウンドまで保護者が送迎し負担がある。といった声が寄せられた。

事務局 学校開放については、コロナ前までは通常どおり解放できていた。コロナになってから本町は、学校開放を中止し今年1月からグラウンド及び体育館を開放予定だったが、再びコロナ感染者が急増した為、開放困難となった。

学校開放については、教育委員会と校長会とで解放時期等について決めている。一気に開放は難しい。学級閉鎖の中で、生徒以外の人を入れることは厳しい状況にある。まずは、グラウンドからの開放をスタートして様子を見て体育館も開放していく予定。学校開放は、学校の日々の活動が優先ですので全面開放は難しい。

町長 昨年12月の災害ボランティアセンター立上げの際に、グラウンド開放はどうなっているのか聞かれました。1月から爆発的な感染状況となってしまいそれもまもなく今日に至っている。国はまん延防止解除については、デルタ株が急速に下がった時よりは、陽性者数は低いが、社会活動を再開する方針ですので私どもも比較的によれに近い対応です。まん延防止措置はなくなったけれども一定の新規感染者防止もっておりやむおえない。暗中模索となるとは思いますが要望にお応えしたい。

5. その他

委員 直近の議会で、中学校の雨漏り防水工事の予算がおおったと聞き良かった。もう一つの課題として、給食室の問題もあり、大事業で施設の限界もきている。ここは、町長が旗振り役になり色々な機関を動かしていく必要がある。勉強会を立上げ5～6年先にはメリットデメリットを出し将来像を示し、子どもの食を充実させていく必要がある。教育委員会が考えるレベルではなく町レベルで考えていく必要がある。このままでは何年たっても先へは進まない。

町 長 給食室の老朽化により危険な状況は認識しており、施設整備最優だと思っている。令和3年度に老朽化した施設個別管理計画に教育課施設も搭載し、老朽化の状況、費用の展望といった時系列でのタイムスケジュールで改築又は、長寿命化を進めていくかが最大の町の課題として問われている。教育施設は老朽化も多いが一方重要性も高いものが多い。どういうタイムスケジュールでどう改修していくかなんですが、中央ポンプ場などの改修は、専門業者により日常管理がなされ点検修理に係る展望など明確な費用やタイムスケジュールがでているが、教育施設については、専門業者による向上的な管理がされていない為、どこがどう傷んでいるのかなど明確に示されておらず統一的に把握ができていない。体系的知見をもっているところまでいたっていない。

教育課からタイムテーブルや費用などの素案を提示していただき検討していく必要があるし、専門的な精査も必要になっていく。そして、ポンプ場全面改修のかたわら最重要で進めていかななくてはならない。

委 員 ぜひ中長期的な計画をたてていただき、今の教育現場施設、校舎の建築を含め良くしていただきたい。一宮町は「教育のまち・文化のまち」であるので、教育現場をなんとかしてほしい。

一宮小学校は駐車場がなく、教員個人が駐車料金を支払っている。

かつては、公共交通が主流で、一宮がよいといわれる時代があった。現代のように車が主流になると一宮小と東浪見小学校どちらに行きたいかという東浪見小に行きたいという声が多く人事にも影響がある。管内でも職員が駐車料金を支払っているのは一宮小学校だけである。教員は県の職員であり町の職員とは立場が違う。町の職員は駐車場料金を支払っているからという声もあるようですが、同じ扱いではない。一宮小学校の駐車料金は年間66万円です。これをなんとか町で負担してほしい。そうでないと100%の力で一宮の教育に力を注ぐ教師の確保が難しくなる。「郡部の優」と言われるような質の高い小学校にできればよい。

町 長 色々な経緯があったと思う。近隣町村では、交流施設、公民館の建て替えなど社会教育施設が全体的に一宮より先にいっている。町の使命としては、ハードの設備は重要でありなんとかしたい。

駐車場問題については、6年前に登板した際におかしいと思った。当時、総務課に確認したが難しい、また、学校の方でも絶対そこまで無料にしたいと盛り上がっていなかった。

今回の提案に対し、私のほうから総務課に諮らせていただく。

事務局　その他、ほかにございますか。なければ、教育長が3月31日をもって退任されます。教育長よりひとことご挨拶いただきたいと思います。

教育長　あと、数日ですが4月1日から一民間人になります。何をしようか。何をするのかも決まっていない。今後何かお力になれる機会があればお役に立ちたいと思います。これまで大変お世話になりました。